

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULIETIN

No.23

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪3F
事務局 東大阪市小阪本町1丁目5-14
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号
TEL: 06-6753-8823
FAX: 06-6753-8826
E-mail: jahcrc@gmail.com



会長 宮田 照男
会長ノミニー 金子 勝信
副会長 岩崎 史郎
幹事 岩橋 竜介
会報委員長 伊藤 雄一

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017~2018年度 国際ロータリー会長 イアン H. S. ライズリー

第 2077 回例会 平成 30 年 2 月 26 日 (月曜日) 第 23 号

本日の例会 2月26日(月) 第2例会
東大阪西ロータリークラブとの合同例会
食事 18:00~ 例会 18:30~

次回の例会 3月5日(月) 第1例会
◎卓話 『ロータリーの入り口』
担当: 藤原 英夫会員

前回の例会 2月5日(月) 第1例会
◎ビジター 八尾RC 奥谷 英一様
大阪東RC 佐々木恭一様
東大阪RC 竹中 照次様

会長挨拶 宮田 照男 会長

みなさん こんにちは

早いもので2018年も、もう2月に入りました。私達日本人は季節感を大切にする民族であるといわれていましたし、私達自身もそうだと思っていました。しかし、最近は生活の中から季節感は少しずつ少なくなってきました。そんな中、立春は寒い冬から春を待つ気持ちが大きいからか、季節の変わり目の言葉としてよく耳にする方です。

また最近では、節分の「恵方巻」が話題になることが多く、ニュースでは、とても丸かじり出来そうもない位、豪華な太巻きが紹介されたりもしていて、様変わりを見せています。今年は南南東が恵方だそうです。

また、とても春など、どこにも来ていなさそうな最近の寒波ですが、大阪城の寒梅は5分咲きを迎え、前にもふれました臘梅などの見頃は過ぎてしまったそうです。本格的に春らしくなってくる彼岸まで、まだまだですが皆さん、頑張りましょう。

2月は「平和と紛争予防・紛争解決月間」です。数年前まではなかったなじみのない月間ですので、ガバナ月信よりの引用ですが、少し触れたいと思います。毎年、紛争や迫害によって6,500万人が難民生活

を強いられており、犠牲者の90%が一般市民で、そのうち少なくとも半数が子供だそうです。

このような現状に対しロータリー財団は、危険にさらされた人々を支援したり、親をなくしたり負傷した子どもたちを助ける、紛争解決や仲裁に取り組む、毎年100名の平和フェローシップの候補者を探すなどの奉仕活動やプロジェクトを計画するよう呼び掛けているようです。まだまだ、世界はロータリーを必要としているようです。

幹事報告 岩橋 竜介 幹事

- 今年度、米山特別寄付、ロータリー財団特別寄付の確定申告用領収書をポストに配布しております。ご確認をお願いいたします。
- 17日(土)開催の「青少年交換プログラム第4回派遣候補生オリエンテーション」には派遣候補生岩橋映美が参加します。
- 23日(金)に2018-19年度 IM第4組 第1回会長・幹事会が開催されます。百済ガバナー補佐、金子会長エレクト、岡本幹事代理に出席していただきます。よろしくお願いたします。

今後の予定

- 3月3日(土) 会長エレクト研修セミナー(金子)
- 3月17日(土) クラブ戦略計画委員長会議
- 3月17日(土) 青少年交換プログラム(岩橋映美)
- 4月11日(木) 第2回ゴルフ同好会(飛鳥CC)
- 4月14日(土) IMロータリーデー

出席報告 金子 委員

本日の会員数	19名
本日の出席者数	17名
本日の出席規定適用免除会員	8名
本日の出席率	94.44%
1月15日の修正出席率	94.44%

八尾RC 奥谷英一様

本日はよろしくお祈いします。

宮田会長 2月に入りました。寒い日が続きますが皆様ご自愛下さい。

佐藤会員 立春、暦の上では春になりましたが、寒さ続いていますので、ご自愛の程。

百済会員 ガバナー月信2月号に当クラブの社会奉仕活動が記載されております。

岩崎会員 2月に入りました。今月も宜しくお祈い致します。

小川会員 寒い日が続きますが、皆様お身体ご自愛下さい。

金子会員 インフルエンザが流行っているようです。皆様お体ご自愛下さい。

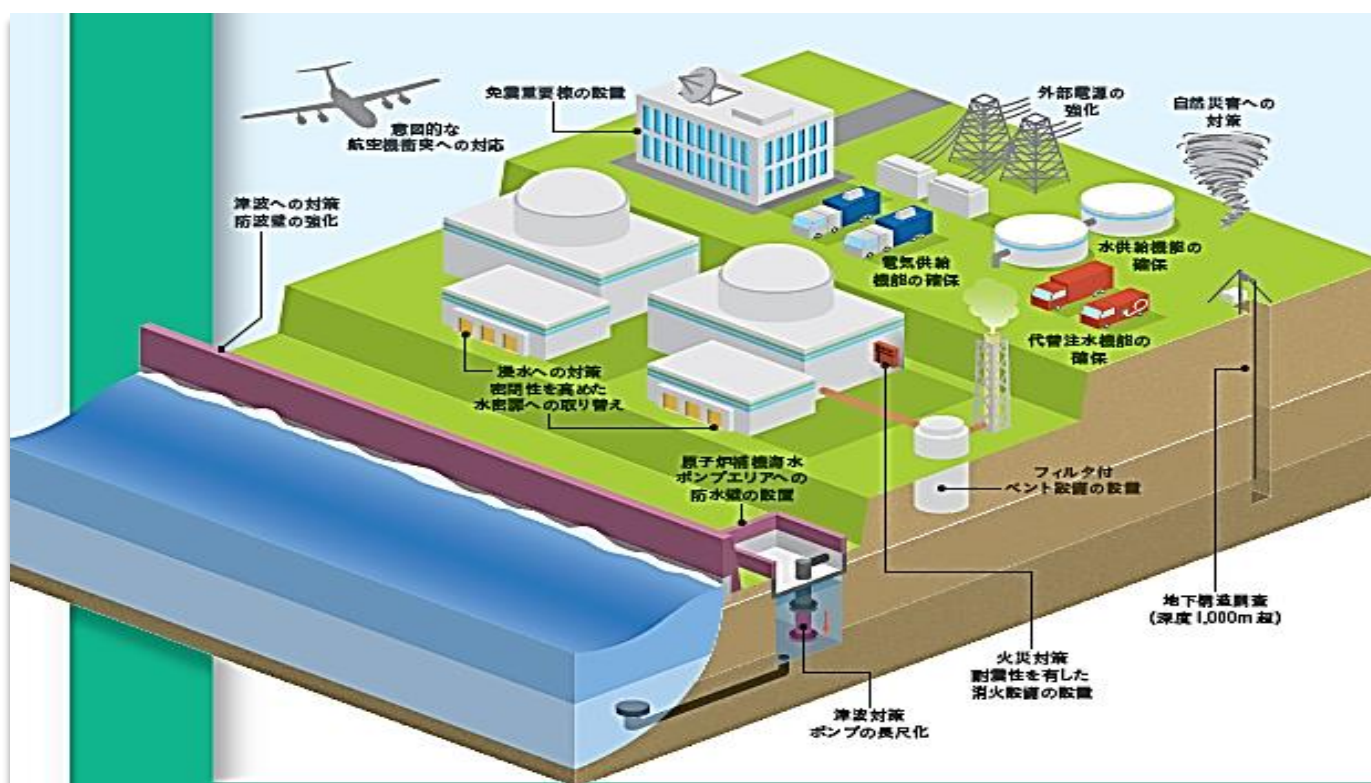
中村会員 確定申告の時期が近づいて参りました。忘れないようにご準備下さいませ

卓 話

佐藤 三千秋会員

『原子力発電所の安全対策について』

前回の卓話にて日本の原子力発電所にはタイプの違う2つの炉型が採用されており、その発電の仕組みの違いについてBWR型（東電タイプ）とPWR型（関電タイプ）を説明させて頂きました。電力会社も新聞・マスコミもこれについては積極的に報道してこなかったため、一般的に認識されていないのを痛感しました。ついでには東電福島第1原子力発電所の事故以来、「同様の事故を二度と起こさない」ために電力会社・原子力発電所が取り組んでいる安全性向上対策について説明させて頂きます。



より一層の安全性向上策

現在取り組んでいます

◎地震と津波に備える (P.4・P.5)

- 地震対策の強化
- 防波壁・防潮堤の強化
- 水密扉の設置

◎重大事故を防ぐ (P.6・P.7)

- 非常用電源の強化
- 冷却機能の確保
- 格納容器の破損防止・水素爆発防止
- 竜巻・火災対策の強化

◎事故を想定した訓練 (P.8)

- 各種訓練からのフィードバック
- シビアアクシデント発生後、事故収束作業の支援

さらなる安全性を追求するための取り組み (P.9)

- 原子力産業界全体の取り組み
- リスク研究の推進

さらに取り組んでいます